

令和 6 年度

学校自己評価表（計画）

学校運営計画		
学校運営方針	授業改善と学習意欲向上の取組を通じて、生徒の学力伸長を図り、「進学も就職も、生徒の希望が確実にかなって自己実現できる学校」として支援するとともに、部活動や地域連携の活動等により、活気にあふれた学校づくりを進める。	
三つの方針(スクール・ポリシー)		
育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ① 自己を知り、他者を尊重する思いやりの心を育成します。 ② 自らの進路目標をもち、その実現に向けて努力する姿勢を育成します。 ③ 自己の住む地域を知り、地域に貢献し、リーダーと成り得る能力を育成します。 ④ 自ら学び、自ら考え判断し行動できる力を育成します。	
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ① 人権教育、同和教育を計画的、教科横断的に実施するとともに、日頃からグループ学習などで生徒同士の関わりを大切にします。 ② 多様な進路希望を実現するため、基礎学力の定着やキャリア教育の充実を図り、生徒が主体的に学ぶ進路学習に取り組めます。 ③ 地域と連携しながら、ひと・文化・産業などについて深く学び、他者と協働し発展的な思考を育てる活動を行います。 ④ 「わかる授業」の実践に努め、生徒の学習意欲向上と主体的・対話的で深い学びの実践活動を行います。	
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	～このような生徒を求めています～ ① 基本的な生活習慣と規範意識を身に付け、他者を尊重することができる生徒 ② 自らの進路実現に向けて努力することが出来る生徒 ③ 地域を知り、地域を愛し、地域に貢献しようとする生徒 ④ 自ら学び、行動しようとする生徒	
昨年度の成果と課題	年度の重点目標	具体的目標
<ul style="list-style-type: none"> 年間をとおして落ち着いた学校運営ができた。次年度は、スクールポリシーに沿った教育課程や学校行事の見直しを検討していく。 ICTの活用（特にGoogle Classroom）は定着している。今後はICTを活用した授業改善をさらに図っていく。 長期休業明けの個人面談で、生徒の抱える悩みに早期に対応することができた。 年度初めの部活動加入率は維持できているが、途中で辞める生徒も多い。 	スクールポリシーに沿った教育課程の改訂と生徒の学ぶ意欲を高める学習指導の研究	<ul style="list-style-type: none"> 生徒数の減少にともない、職員数も減少する中でも持続可能な教育課程の見直しをすすめる。 積極的なICTの活用などにより、主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善を行う。
	生徒指導における一貫した指導体制の推進	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣と規範意識を身に付け、いじめ防止基本方針に沿って、適切な対応をする。 生徒の指導や理解に関する校内研修の充実を図る。
	生徒の進路実現に向けた組織的取組の確立	<ul style="list-style-type: none"> 総合的探究の時間を中心として、燕市や吉田高校サポート協議会と連携し地域を知る活動を積極的に行い、地域に貢献する意識を高める。 個別的進路相談を充実させ、生徒の進路実現を支援する。
	生徒会活動や部活動の奨励および活性化	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動や部活動への参加を促す。 学校行事の活性化を促し、学校生活への満足度を高める。

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価
教務	円滑な学校運営に努める。	新教育課程での効果的な年間行事計画や時間割の作成に努めるとともに、実践する中で生じた諸問題の解決に取り組む。	
		行事を含めた様々な教育活動が円滑に実施できるように、他の分掌や学年との連携を図りながら、単位履修に必要な授業時数を確保する。	
	地域や保護者との連携を図り、開かれた学校作りに努める。	様々な情報発信を通じて保護者や地域との連携を深めるとともに、PTA専門部を中心に、保護者や地域の力を積極的に活用することで、教育活動の充実を図る。	
		中学生体験入学で模擬授業等により吉田高校の魅力をアピールし、参加者アンケートにおける評価「良かった」が8割以上を目指す。	
		学校ホームページを積極的に活用し、学校活動の様子について保護者との情報共有を行う。	
	図書・視聴覚の環境整備に努める。	教育活動を行う上で必要な図書・視聴覚教材や情報機材などを適切に管理し、利用しやすい環境整備を行うとともに、ICT教育の推進をサポートする。	
図書館の適切で有効な運営に努めるとともに、様々な情報発信を通じて、図書の有効活用を促す。			
生徒指導	様々な講習や講演会を行い、生徒により良い情報を伝える。	情報モラル講演会やSNS教育プログラムを実施し、ネット社会でのルールを学ぶ。	
		薬物乱用防止講話を実施して、薬物汚染の恐ろしさを理解させる。	
		交通安全講話や原付バイクの免許保有者に、交通安全の重要性と安全への意識を学ぶ。	
	ルール遵守と責任感の養成を図る。	頭髮服装検査を年間5回実施するとともに、継続的に指導する。	
		携帯電話の校内での使用方法について、徹底するよう指導する。	
		アルバイトや免許取得など、学校の指導方針の周知徹底を図る。	
	登下校の指導や遅刻の防止、挨拶の励行、望ましい身だしなみの定着を図る。		
保健指導	健康管理や環境美化の意識・能力の向上を図る。	各学年で性に関する講演会を実施し、知識の習得や意識の向上につなげる。	
		校地校舎の日常的な清掃美化指導により、学習環境の維持向上を図るとともに衛生意識の向上を図る	
生徒会	生徒会活動・学校行事及び部活動の活性化を図る。	生徒会執行部を中心として、学校行事の内容充実を図り全校生徒が積極的に取り組めるようにする。	
		部活動に積極的に取り組んでいる生徒がいることを全校生徒に発信する機会を増やし、自校への興味関心を引きだてるようにし、部活動加入率を向上させる。	
進路指導	キャリア教育を推進し、学習意欲の向上につなげる。	『進路のしおり』を作成し、進路指導に有効活用を図る。	
		進路ガイダンスを実施するとともに、内容を厳選し充実を図る。	
		進路情報室の資料を一層充実させ、有効な利用方法の指導に努める。	
	個別の進路相談を充実させ、生徒が第一希望とする進路の実現を支援する。	進学講習・模試受験指導・推薦入試指導などを計画的に実施する。	
進路・学年・保護者間で緊密な連携を保ちながら進路指導を行う。			
	企業研究・職場見学等を充実させ、就職希望者全員の進路実現を目指すとともに、1次合格率65%の内定を目指す。		
学年	基本的な生活習慣と規範意識を養う。	(1年) 基本的な生活習慣の確立と進路を見据えた基礎学力の定着を目指し学習習慣を確立させる。	

	自らの進路目標をもち、その実現に向けて努力する姿勢を育成する。	(2年) 基本的な生活習慣の継続に加えて学習習慣を確立させる。自己の進路を主体的に模索する姿勢をもたせ、進路実現に向けての意識を高める。 (3年) 一年間の見通しを持ち、一人ひとりが自らの進路目標の実現に向けて積極的に行動できる環境を整える。		
道徳・人権教育	日頃から様々な経験をとおして、人間としての在り方生き方を主体的に探究する力を養うとともに、他者を尊重する思いやりの心を育成する。	(道徳) 教科・科目において体験的な学習を重視するほか、ボランティア活動などに参加しやすい学校づくりを行う。 (人権) 生徒及び教職員対象の人権教育、同和教育研修会を全校対象1回実施するほか、学年ごとに1回以上実施する。		
総合学習 探究学習	進路探究の一環として地域社会に関連した課題探究を行い、職業観・勤労観を持たせ、主体的に進路選択が行える能力・態度を育成する。	(1年) 一人ひとりが自身の進路や自身の特性について考える力を育成するとともに、地域についての理解を深め、探究学習の手法を学ぶ。 (2年) 地域課題探究の学習を通じて、協働して課題を設定し、解決することができる力を育成する。 (3年) 地域課題探究の学習により、地域の課題について解決策を考察し、提案する実践力や表現力を養わせる。		
国語	国語を適切に読み取り、表現する力を身に付けさせるとともに、言語文化に対する関心と理解が深まるよう育成する。	わかりやすい授業のために、プリントや課題を工夫して、生徒の意欲を高め、漢字テストの実施や長期休業課題などを課して学力を定着させる。 プリントや課題の提出率8割以上を目指す。		
地歴公民	日本や世界の基本的知識を習得し、地理的・歴史的思考力を養う。日本や世界の政治や経済、世界的な諸課題を学び、主権者として必要な知識の習得と態度を養う。	I C Tを使用しながら、丁寧でわかりやすい授業を行う。 生徒の主体的な学びを目指し、グループワークやI C Tを取り入れた授業を行う。		
数学	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高める。	生徒の様子を観察し、対話的で丁寧な授業を心がける。 提出期日での課題提出率90パーセント以上を実現するために、課題の意義を認識させるとともに質問しやすい環境を整える。		
理科	自然の事物・現象についての理解を深め、観察実験を通して、自然の事物・現象を科学的に探求するために必要な資質・能力を育成する。	自然と人間生活を関連付けながら、基本的な概念や原理・法則を理解する。 現象を理解し、観察実験などを通じて科学的に探求する力を養い、科学への興味関心を高める。自ら仮説を立て学びに向かう意欲を醸成する。		

保健体育	幅広いスポーツの 実践や理論の学習 を通して、より高 い技能及び知識の 習得を図る。また、 健康・安全に関す る基礎的知識を育 成する。	運動を楽しみ、生涯スポーツに取り組む姿勢と社会生活における 健康・安全に関する基礎的知識を育成・習得させる。		
		課題提出率 90%以上を目指す。		
芸術	芸術の鑑賞、表現 、創作活動をとお して、豊かな心や創 造力を育成する。	自己のイメージをもって表現を創意工夫できるような学習活動を行 い、互いにその成果を認め合うよう指導する。		
外国語 (英語)	基礎的な語彙力や 文法力を習得し、 英語を通じて積極 的にコミュニケーション を図ろうとする態度を育成す る。	基礎学力の定着を目指し、ていねいにわかりやすく指導する。		
		課題提出 90%以上を目指す。		
家庭	社会人及び家庭人 として必要な基礎 的教養を習得させ、 豊かな人間性を 育成する。	衣食住、家庭・保育、消費生活と環境など家庭生活についての関 心と理解を深めさせ、実習を取り入れた授業を行い、実践的能力 を育成する。		
		子ども文化の継承と創造に必要な基礎的技術を身に付けさせる。 食物調理検定、保育技術検定の合格率90%となるよう指導する。		
商業	商業の各分野に関 する基本的な知 識・技能を習得させ、 職業人として 必要な心構えを育 成する。また、資 格を活かして商業 系大学への進学及 び就職を目指す。	学習到達度をはかるために各種検定を受検させ、商業に関する基 礎的な知識・技能を習得させる。検定合格率が100%になるよう指 導する。		
		ワープロ・表計算・プレゼンテーション・ネットワーク管理など の実務に必要なソフトの活用能力を育成する。		
		社会人・職業人として要求させる知識・能力・態度を身に付けさ せる。		
情報	情報社会との関わり について考えなが ら、問題の発 見・解決に向けて 主体的に情報と情 報技術を活用する 力を育成する。	生徒の様子を観察し、対話的で丁寧な授業を心がける。		
		課題提出率90パーセント以上を実現するために、課題の意義を認 識させるとともに質問しやすい環境を整える。		
		webデザインやプログラムを、粘り強く考えて取り組めるように指 導する。		
成果				総合評価